



2024年4月1日

各位

東海東京証券株式会社
名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

非上場プライベート・キャピタル ファンドを投資対象とする 日本初の公募投資信託 「東海東京 スピーン チャーチル プライベート・キャピタル ファンド」の 取扱い開始のお知らせ

当社はこのたび、米国非上場企業への直接融資(プライベート・デット)および直接出資(プライベート・エクイティ)をともにおこなう非上場プライベート・キャピタル ファンドを投資対象とする日本初の公募投資信託「東海東京 スピーン チャーチル プライベート・キャピタル ファンド」(以下、当ファンド)の取扱いを開始しましたのでお知らせいたします。

当ファンドの投資対象ファンドである「スピーン・チャーチル・プライベート・キャピタル・インカム・ファンド」(以下、投資対象ファンド)は、米国最大級の退職年金給付プラン提供会社である「TIAA(米国教職員退職年金/保険組合)」(以下、TIAA)の資産運用部門であるスピーン・エルエルシー(以下、スピーン)の一員であるチャーチル・アセット・マネジメント・エルエルシー(以下、「チャーチル」)が運用するファンドです。

TIAAは1918年にカーネギー財団により設立され、100年以上にわたり大学教職員の退職金の運用・給付サービスを提供してきました。スピーン・グループは2024年1月1日現在、約1.2兆米ドル(約177兆円)の資産運用残高を有します。

チャーチルは、米国ミドル・マーケットへの投資を専門的に運用をおこなう運用会社で、米国ミドル・マーケット企業の シニア・ローンを中心に投資をおこなうプライベート・キャピタル運用戦略で、この分野では多数の受賞歴を誇るとともに機関投資家に支持されて参りました。

チャーチルが運用する投資対象ファンドは、米国の中堅企業へのシニア・ローンによるインカム・ゲインを運用の中核とし、ジュニア・ローンならびにプライベート・エクイティにてパフォーマンスの更なる向上を目指します。

プライベート・キャピタルは、最低投資金額の大きさや流動性の観点から、これまでは機関投資家でなければ投資が困難でした。そのため今般、プライベート・キャピタルに投資をおこなう公募投信を設定し、富裕層の投資家をはじめとする幅広いお客さまにも投資しやすい機会をご提供することといたしました。

当社は、お客さまの多様なニーズにお応えできる運用商品をこれからも提供してまいります。

<本ファンドの概要>

本商品の名称	東海東京 ヌビーン チャーチル プライベート・キャピタル ファンド ケイマン籍オープン・エンド契約型外国投資信託／追加型／米ドル建て
ファンドの特色	主として、ヌビーン・チャーチル・プライベート・キャピタル・インカム・ファンド (Nuveen Churchill Private Capital Income Fund)のクラスI受益証券を通じて、 プライベート・キャピタルへの共同投資によって主としてインカム・ゲインの 獲得と二次的に長期的な元本成長を目指して運用を行います。
設定日	2024年5月21日
購入単位	300口以上1口単位
購入価格	1口当たり:100米ドル(当初申込期間)、評価日の基準価額(継続申込期間)

本プレスリリースは、東海東京 ヌビーン チャーチル プライベート・キャピタル ファン
ドに関して一般に公表するための文書であり、日本国内外を問わず個別の金融商品等への投資
勧誘を目的として作成されたものではありません。

以 上

本件に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。
東海東京フィナンシャル・ホールディングス 広報・IR部 03-3517-8618